

2021年度の学校評価

ア 自己評価結果等

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着を図り、基礎基本となる知識・技術を習得させる。 ・学ぶ楽しさを体験させ、自ら学ぼうとする意欲と向上心を抱かせる。 ・基本的な生活習慣を確立させ、節度ある生活態度を身につけさせる。 ・能力・適性や志望に応じた進路目標を早期に設定させ、その実現に向けて主体的に取り組ませる。 ・部活動、学校行事、HR活動等を通して健やかな心と体を育成し、好ましい人間関係を構築させるとともに、社会性やコミュニケーション能力を身につけさせる。 ・ボランティア活動等を通して、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 ・家庭及び地域と連携し、信頼され特色ある学校づくりに努める。 ・円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。 		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p>
<p>広報活動 (総務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な広報活動の展開とPTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生やその保護者の興味を高める学校案内を作成する。 ・ホームページを中心に、本校進学を志す中学生向けの広報活動をより一層推進する。 ・ホームページ等の広報活動の充実やPTA新聞「樺」をより魅力あるものへ改善し、信頼される学校づくりを進める。 ・教職員全員がPTAとの連携を一層強めることで、学校の活性化を図る。 ・保護者対象の研修会や進路講演会等を一層充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内は、管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行いながら作成し、中学校訪問に合わせて早めに完成させることができた。 ・ホームページを早めに更新し、学校行事、部活動の状況、試合結果等の最新情報を掲載した。 ・広報活動では、生徒の活動する状況、PTA活動の様子がわかりやすく伝わるように創意工夫を行い、夏休み前と冬休み前にPTA広報誌を発行した。 ・進路指導部と連携して、PTA大学説明会を開催することができた。PTA校外研修については、コロナ禍で中止にせざるを得なかった。
<p>授業の活性化 (教務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となる授業の実践をめざし、情報機器の活用も含めた授業改善に取り組む。 ・「総合的な探究の時間」において、3年間を見通した指導計画に基づき、より探究的な内容を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業や研究授業を活用して授業を参観し合い、生徒主体の授業の進め方について研究しようとする雰囲気を作る。 ・現1年生の「総合的な探究の時間」をベースとし、外部資源も活用しながら、生徒が自ら課題を見つける活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい校務支援システム上での運用方法がまだ不明のため、観点別評価の進捗が遅れている。新年度までに年間学習指導計画の骨格を固め、評価がスムーズに行えるようにしたい。そのためにも、具体的な評価方法について教科内で十分審議するよう促したい。 ・総合的な探究の時間は、担当者の工夫により、修学旅行の成果発表会や外部講師の講座も、例年のやり方にとらわれない新しい試みも見られた。
<p>キャリア教育の推進 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した情報提供(全学年) ・模擬試験等の問題分析(全学年) ・進路意識を高める(3年) ・基本的な学習習慣の確立(1・2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌の配布・配架 ・進路講演会等の実施 ・模擬試験や進路適性検査の活用 ・講座や面談の充実 ・学年と連動した継続的な啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報を収集し、各学年に情報を提供することができた。 ・総合的な探究の時間等を使って、自分の進路について考え表現する活動を行うことができた。 ・進路講演会や大学説明会を実施し、進路について考えさせる機会とすることができた。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
交通安全 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時間をきちんと守らせ、心と時間に余裕を持たせることにより、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導と下校指導を強化し、心と時間に余裕を持って登下校させる。 自転車利用五則を周知徹底させる。 安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。 交通安全教室を通して、交通ルールの重要性や命の大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 安易に遅刻をさせない雰囲気を作るために学年集会を実施した。 地域住民の方からの交通マナーに関する御意見等の連絡は減少したが、交通事故件数は例年並みである。交通事故防止に向けて引き続き、効果的な方法等により、交通ルールの重要性や命の大切さを伝えていきたい。
校内美化 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 校内美化を推進し、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検を行い、点検結果を清掃監督に報告させる。 職員会議や校内放送を利用して、職員及び生徒に対して、季節・天候などに応じた重点目標を示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動の重要性を担任や学年会を通して生徒に働きかけた。 生徒一人ひとりの美化意識が高まるよう啓蒙活動を行った。
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策をしっかりと取りながらも、可能な限り正規の形を失わないように学校祭などを実施する 部活動時間の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> 常にコロナ対策を念頭に置きながら、企画する。 生徒会行事は、生徒が自らの手で企画・運営をしていく必要があることを理解させる。 生徒の役割分担を明確にする。 時間に余裕の持てる、無理のない計画を立てさせる。 部活動の活動場所を巡回する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事は、コロナ感染状況に応じて、感染予防対策を十分に検討し準備を行ったため、ほぼ通常の形で実施することができた。 顧問や特活部員などにも巡回の協力を得ることができた。
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> 読書啓発 (朝読の充実) 教科における図書館利用の活性化 (調べ学習等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。 公立図書館の団体貸出を利用した教科活動や部活動での利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月の文化祭では図書委員会主催で「ミニビブリオバトル」を開催し、代表生徒が、「ビブリオバトル愛知県大会」で、3位入賞を果たした。 11月の修学旅行の「バス別研修」や「広島平和学習」の調べ学習に公立図書館の団体貸出を活用した。
基本的な生活習慣の 確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 高校生として必要な基本的な生活習慣を確立できるよう継続的に指導する。確立してきた者には、将来を具体的に考えさせる指導にシフトする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭における生活の中で無理、無駄、ムラをみつけさせ減らせるように指導する。 自分自身を見つめさせて、将来の夢とのバランスを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路やキャリア教育について、学年LTや学年通信で触れ、生徒の主体性を引き出そうと働きかけた。 総合の探究学習では協働的な活動や主体的な活動に重きを置き、自分自身の適性を考える機会を作った。
豊高生としての自 覚を高める (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 第三学年時の進路指導を見据えて、学年全体で雰囲気を作り、学習習慣の定着と進路意識の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団行動の大切さを意識させ、気配りができるように促す。 学校生活を大切にさせ、授業・課題・部活等をしっかり行わせる。 総合・LT・掲示物を利用して、進路選択の視野を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行では、時間や節度を守った行動ができた。事後アンケート結果も良好であった。 多くの生徒が規律ある学校生活を送ることができたが、2学期以降遅刻が増加したため学年集会を行った。引き続き遅刻の動向を注視していく。 総合LTでは、大学調べや講演会を行い、進路を考える機会を多く作った。
進路指導 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実を図り、それぞれが主体的に選択した進路目標を達成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を大切にす。 主体的に選択できるように、進路情報を提供する。 特別講座への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合の時間を使用し、進路に向けて調べ学習を行い、より理解を深めさせることができた。 早朝、業後に自習ができる環境を整えた。また、特別講座への参加は概ね良好であった。 進路決定者にも、継続的に指導を行い、学年の雰囲気作りを心掛けた。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
いじめ防止対策の推進 (いじめ不登校対策委員会)	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法やその後の対処の在り方について検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週、担任会、生徒指導部会、学年主任者会などで生徒の情報交換を行ったり、年2回のいじめアンケートを実施したりすることによって重大ないじめの発生を未然に防止することができた。

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 教 務 授業の充実による学力の向上 生徒指導 日常的な通学マナーの向上
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> 授業の充実に向けて、授業規律を正し、集中して授業に取り組める環境を作るとともに、授業研修を活用して授業力向上を図った。生徒一人一人が主体的に取り組めるような授業工夫を検討していきたい。 通学マナーの向上を図るため様々な啓発活動を行っており、地域からの交通マナーに関する要望が減少した。今後も根気よく継続的に交通安全意識を高めていきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で策定した評価規準を元に、生徒個々の学習活動を適正に評価する。主体的な学びのために、各教科での取組み目標を教員間で共有し実践する。また、研究授業や公開授業週間を効果的に活用して、多くの教員に参観を促し授業改善への意識付けを行いたい。 交通安全指導については、今後も全校体制で啓発活動や登下校指導を継続していく必要がある。さらに、保護者への交通安全指導への協力依頼を繰り返し行っていく。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献、学校公開、さらに学び合いや体験活動など前向きに考えているとのことだが、いずれもコロナ過で思うように進まないと思うが、収束を見据えて準備や計画を入念に行うようにしてほしい。 地域の信頼は、進学実績、落ち着いた生活態度、地域貢献が何より分かりやすい。マイナス面（不祥事、問題行動、自転車の無謀運転など）を極力小さくすることが必要である。 「朝読」の実践は本校の特徴的な教育実践として誇ることができる。本を読む楽しさ、本を読む習慣、文脈の選択と適切な語彙の習得による「思考力」の向上などを目指して、是非継続してほしい。 公開授業や研究授業が、教員互いの授業づくりや生徒理解に役立つので、これからも継続してほしい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成…学校評議員4名、PTA役員（保護者） 評価時期…10月～11月、2月～3月

(5) 経営管理上の問題点等

施設・設備等で老朽化が進んでいる箇所が見られる。安全点検や衛生委員会による校内巡視を確実に、修繕等が必要であれば迅速に対応し、学習環境の整備に努めていく。